



- 駐車地
- ↓ 0:06
- 堀切林道ゲート
- ↓ 0:29
- 亀ノ尾峠
- ↓ 0:08
- 145標柱
- ↓ 0:08
- 亀ノ尾城跡
- ↓ 0:15
- 笠城(422m)
- ↓ 0:16
- 亀ノ尾城跡
- ↓ 0:10
- 降り口
- ↓ 0:07
- 九三杭
- ↓ 0:08
- 南ピーク(391m)
- ↓ 0:06
- 北ピーク(391m)
- ↓ 0:06
- 作業路出合
- ↓ 0:28
- 林道出合
- ↓ 0:04
- 堀切林道ゲート
- ↓ 0:05
- 駐車地

笠城(422m) (虎ヶ岳城跡)

2020.12.09(水) 晴れ

駐車地→堀切林道ゲート→亀ノ尾峠→145標柱→亀ノ尾城跡→笠城(422m)→亀ノ尾城跡→降り口→九三杭→南ピーク(391m)→北ピーク(391m)→作業路出合→林道出合→堀切林道ゲート→駐車地



中の島公園から猿山を経て亀ノ尾峠に至る市道に入り、建物内の道路端に駐車し歩き始める。



右に作業路入口を見送る。



右に新しい植林斜面を見送る。



堀切林道ゲートが見えた。



堀切林道ゲート



傍に立つ林道標柱。



南へと肥前・筑前街道を緩やかに登って行く。



傷んだ石畳は苔むしている。



右に作業路入口を見る。



石畳は剥れゴロ帯となっている。



弱い沢に架かる石橋を右から左に渡る。



No.7の案内板を見る。



右の大岩に刻まれた林道開作碑を見る。



「昭和六年 林道開作 延長三百間 真鍋勝三郎」と刻まれているようだ。



No.8の案内板を通過する。



右にカーブする。No.9の案内板が立つ。



前方奥が明るくなってきた。



亀ノ尾峠が見えた。



亀ノ尾峠に到着。



南の南畑ダムへの街道。



東斜面に亀ノ尾城(笹城)跡への案内板を見て、斜面に取付く。



スギ植林地を緩く登って行く。



4個の石で囲まれた145標柱を見る。



土塁上に行く。



前方斜面を登り上がる。



亀ノ尾城跡は南北に長い。



土塁尾根を行く。



急斜面を降る。



植林の奥に笠城が見えた。



笠城の斜面に取付く。



雑木林を行く。



笠城に到着。別名虎ヶ岳城の跡であるが、遺構らしき物は見当たらず露岩が散在している程度。南北は急崖となっている。



東端部に四等三角点：笠城(422m)が設置されているが、周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



東斜面には3段程の小段が見られる。



枝先の向こうに九千部山のアンテナが何とか望めた。
一息ついてひきかえす



笠城西斜面を降る。



急斜面を登り返す。



145標柱の東側端部で鳥獣看板を見る。



145標柱から北側端部の幹に巻かれた赤ヒモの所を降り口とした。



灌木(主にアオキ)の急斜面を降り、途中で東方向へ進む。



小さなコルに出合い丸三杭を見る。



傍の枝に赤ヒモが結んである。



見通しの効く尾根筋を北へ進む。



奥に南ピーク(391m)が見えた。



明瞭な獣道を行く。



北ピーク(391m)に到着。



このV字木をピークとした。周囲を樹木で囲まれ展望は得られない。



まだモミジの紅葉が見られた。



南から下って来た**作業路**に出会い、左へ進む。



出て来た方を見る。



作業路が右へ下る所から、灌木を分け尾根筋に入る。



下って来た作業路を振り返る。



道なりに作業路を降って行く。



イノシシのダニ落とし場を見る。



尾根筋に竹林が混在してきた。



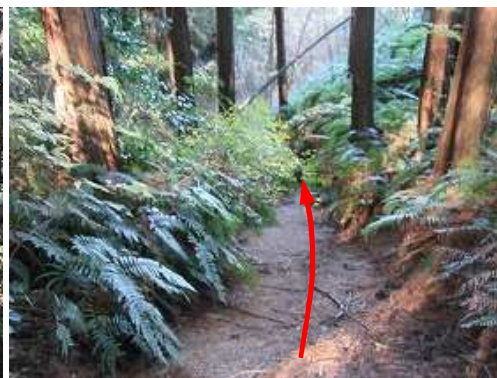
南から下って来た**作業路**に出会う。



作業路を右へ進む。



作業路が左カーブする所で、東植林の奥に赤白の中継塔が垣間見えた。



舗装作業路が現れ、やや急に下って行く。



堀切**林道**に出会い、左へ向かう。



前方に三叉路が見え、左に進む。



道なりに下って行く。



堀切林道ゲートを抜け、右に下って行く。



街道を緩やかに下って行く。



駐車地に帰り着いた。



ツルシキミ 実



ヤブコウジ 実



クサギ 実